

*前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業で大きく悪化傾向を弱め、その他卸売業では大きく良好傾向に転じました。紙・紙製品卸売業は横ばいとなりました。一方、食料・飲料卸売業、機械器具卸売業では悪化傾向を強めました。全体としては、-59と前期比12ポイント悪化傾向が弱まりました。売上額、収益はともに減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は下降傾向を弱め、仕入価格も下降傾向を弱めました。在庫は過剰感を弱め、資金繰りは窮屈感が弱まりました。残業時間は減少傾向を強め、人手は過剰感が弱まりました。設備の状況は不足に転じ、設備投資の実施は車両などで24%と前期に比べて7ポイント増加しました。

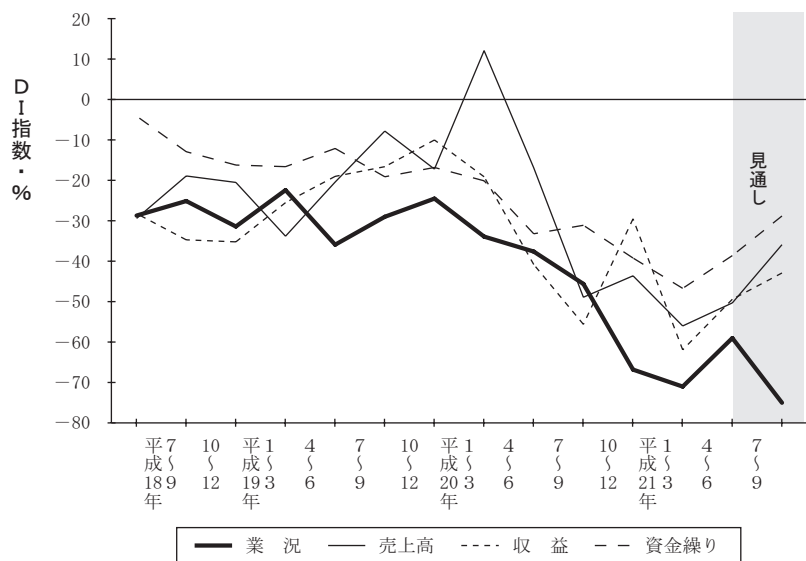
来期の見通し

業況は、農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業でわずかに悪化傾向が弱まり、食料・飲料卸売業、紙・紙製品卸売業では横ばいとなるとみえますが、機械器具卸売業で大きく悪化傾向を強めるとみており、その他卸売業では悪化傾向に転じるとみているため、全体としては-75と今期と比べて16ポイント悪化傾向が強まりそうです。売上額、収益はともに今期同様減少傾向を弱めそうです。価格面では、販売価格、仕入価格とも下降傾向をわずかに強めそうです。在庫は過剰感を強めるとみえています。資金繰りは今期同様窮屈感が緩和されそうです。残業時間は減少傾向を弱め、人手は過剰感が強まりそうです。設備の状況は不足感が若干強まるとみておりますが、設備投資については車両を中心に12%の先が実施予定としており、今期に比べて12ポイント減少し、投資意欲は減退するとみています。

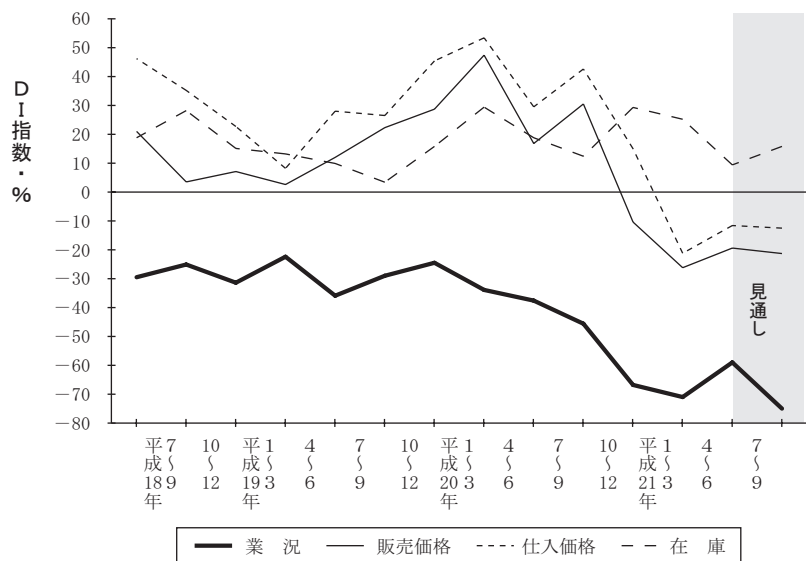
調査員のコメント

- 競争激化し、利幅縮小しているため、新分野参入等積極的に検討している。(医療機器卸売業)
- 売上減少傾向にあるため、現社員の仕事の質を上げる必要があり、また取引先の開拓も行なっていく。(食料・飲料卸売業)

景況の推移

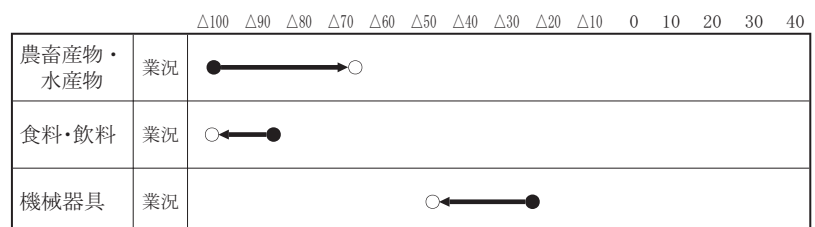


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期(21年4月~6月) / 前期(21年1月~3月)



経営上の課題点	1位	売上の停滞・減少(1)	20社 (80%)
	2位	同業者間の競争の激化	15社 (60%)
	3位	利幅の縮小(3)	11社 (44%)

当面の重点経営施策	1位	販路を広げる	17社 (68%)
	2位	経費を節減する	17社 (68%)
	3位	情報力を強化する	11社 (44%)

*()は前回順位 *対象企業総数は25社